

## 厳冬期の知床五湖エコツアー事業の平成 29 年度以降の継続について

## ■経 緯

## &lt;平成 19 年度&gt;

- 北海道により「冬期通行止区間の道路使用に関する事務取扱要領」の通知を受け、知床斜里町観光協会・知床エコツーリズム推進協議会・斜里町が事業構築を進め、岩尾別ゲートから知床五湖に至る冬期通行止め区間をガイド付き・徒歩利用による利用が承認され、約 200 名の利用があった。

## &lt;平成 23 年度&gt;

- 4 年間の試行を経て本格実施。利用者は毎年約 150～250 名。

## &lt;平成 24 年度&gt;

- 10 月 5 日、「適正利用・エコツーリズム検討会議」に対し、岩尾別ゲートから知床五湖までの車輛乗り入れを視野に入れた事業検討について提案し、部会設置の承認を得る。
- 25 年 3 月、エコツーリズム検討会議で、部会設置と検討状況を報告し、検討期間を延長することとなる。

## &lt;平成 25 年度&gt;

- 検討部会の開催（2 回）
- 事業実施者の自主除雪と車輛乗り入れについて道路管理者と協議し、実施母体が予定される「知床五湖冬期適正利用協議会」の代表に斜里町長を選任することを条件に承認されることとなった。
- 3 月 26 日、エコツーリズム検討会議に検討状況を報告するが、継続審議、バスの乗り入れなどについて再検討を指示される。

## &lt;平成 26 年度&gt;

- 検討部会、ガイド事業者説明会開催
- 7 月 14 日、エコツーリズム検討会議において、計画の承認を得る。
- 10 月 10 日、道路管理者（北海道）から試験除雪を 3 年間実施することが決定。
- 10 月 30 日、知床五湖冬期適正利用協議会の設立総会。
- 12 月 16 日、第 2 回知床五湖冬期適正利用協議会開催。
- 1 月 16 日、引率指導者（ガイド）の事前説明会開催。
- 1 月 22 日、「厳冬期の知床五湖エコツアースタート。

## ■事業の実施状況

### <平成 26 年度>

1. 期 間 平成 27 年 1 月 22 日 (木) ~ 3 月 22 日 (日)
2. 利用人数 7 5 6 人 (1 日当たり平均利用人数 16.4 人)
3. 実施日数 4 5. 5 日
4. 中止日数 1 4. 5 日
5. 事業所数 1 4 事業所
6. 引率指導者数 2 5 人
7. 町民モニターの実施
8. 国内利用者アンケート調査実施

### <平成 27 年度>

1. 期 間 平成 27 年 1 月 23 日 (金) ~ 3 月 22 日 (火)
2. 利用人数 2, 1 2 7 人 (1 日当たり平均利用人数 38.0 人)
3. 実施日数 5 6 日
4. 中止日数 4 日
5. 事業所数 1 4 事業所
6. 引率指導者数 2 9 人
7. 国内利用者アンケート調査実施
8. 外国人アンケート調査実施

### <平成 28 年度>

1. 期 間 平成 28 年 1 月 22 日 (日) ~ 3 月 22 日 (水)
2. 利用人数 (2 月 20 日現在) 1, 4 6 0 人 (1 日当たり平均利用人数 53.1 人)
3. 実施日数 (2 月 20 日現在) 2 7. 5 日
4. 中止日数 (2 月 20 日現在) 2. 5 日
5. 事業所数 1 7 事業所
6. 引率指導者数 3 2 人

## ■今後の事業展開

### ○ 事業評価

- ・現時点で利用者数の上限に迫っているという状況ではなく、本ツアーが周辺環境に大きな影響を与えているとは考えにくい。
- ・早めの開閉判断、事故対応マニュアルの策定等により、危険事例は発生しなかった。
- ・外国人の割合は 1 年目は 3 割超、2 年目は 4 割超となり、冬期の外国人観光客の受け皿となっている。
- ・引率指導者間で出発時間やルート等を調整し、静寂感を損なわないよう工夫している。
- ・植生が露出した箇所は迂回するなど、植生保護について事務局・引率指導者間で注意喚起・

ルールづくりがなされている。

その他、詳細は資料 1 - 1 ②（前回資料の再掲）を参照のこと。

#### ○ 課 題

- ・ 今後、更に利用者が増加する可能性が高く、その魅力を維持するには静寂性、神秘性の確保が重要である。
- ・ トイレの設置要望が多いが、一方ではバックカントリーと位置付けるべきとの意見もあり、熟年者の利用やサービスとして最小限設置してきた。
- ・ 近年は暴風雪気象が多く発生していることから、安全対策を十分に対処していく必要がある。
- ・ 北海道による試験除雪が終了することにより、事業を継続するには自主除雪をすることが前提となることから、利用料の値上げや利用者の安定確保を検討する必要がある。
- ・ ロングコースについて身体的・時間的負担があり、もう少し手軽に利用できる選択肢を求める声がある。

#### ○ 平成 29 年度以降の事業計画

今回のエコツーリズム検討会議において、以下の事業計画について承認を頂き、本計画に基づいて平成 29 年度以降も事業を実施してまいりたい。

1. 道道知床公園線（岩尾別ゲート～カムイワッカ分岐点）及び町道岩尾別道路（道道カムイワッカ分岐点～知床五湖駐車場）の通行止め区間は、特例使用許可によりガイド車輛のみの通行とする。
2. 上記通行止め区間の除雪については、26 年度～28 年度の 3 年間は北海道による試験除雪を実施してきたが、平成 29 年度からは、実施主体である「知床五湖冬期適正利用協議会」が自主除雪を行い、事業を実施する。
3. 知床五湖園地への立ち入りは、「知床五湖冬期適正利用協議会」が実施する「厳冬期の知床五湖エコツアー」期間とし、1 日あたり 150 人以下の範囲内でのガイド付き散策を基本とする。
4. これまでどおり、1 日 2 回(午前・午後)知床五湖園地内のコース（おおむね夏期の大ループ）をスノーシュー又はスキーにより散策する。
5. 今後、ルートの変更など事業内容を大きく変更する際には、再度エコツーリズム検討会議に提案し承認を得て行う。